



京都市図書館情報誌



本で広がる世界
本でふくらむ夢

きょうと

京図

ものがたり



60号
記念特集

京都市の図書館 はじまりの物語(～1985)

その他のページ

レファレンスこぼれ話【特別編】	4
図書館の本棚から 司書がすすめるこの1冊	5
電子書籍、この1点	5
使って便利な京都市図書館	6

あなたの好奇心に応える

vol.60

令和7年2月発行

京都市の図書館 はじまりの物語 (~1985)

京都市の図書館は、まだ戦争の影響が色濃い昭和25(1950)年、コバルト色の一台の自動車からはじまりました。
巡回教室「青い鳥」と名付けられたその車は、約800冊の本を積んで市民へのサービスを行いました。
それから、75年。現在では、移動図書館を含む21館を、コンピュータネットワークで結び、どこでも本の貸出・返却ができるようになり、電子書籍などさまざまなサービスを行っています。60号では、昭和60(1985)年までの京都市図書館の歴史を紹介します。

図書館のはじまり

巡回文庫用自動車

「青い鳥」使用開始!!



(「京都新聞」昭和25年12月29日 京都府立京都市・歴史館 所蔵)



今も残る「青い鳥」の名前は、市民公募だったんだってコバルト色のスマートな車体ってどんなだったのかなあ～

見たら、幸せになれるかも?

現在、イベントや学校連携等で活躍中の青い鳥号



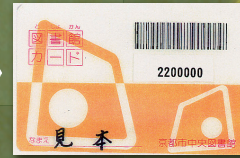
巡回文庫用自動車「洛東号」使用開始
(京都洛東ライオンズクラブから寄贈)

中央図書館は最初にコンピュータ式図書館システムを導入したよ

それまでのポケット式の貸出券から、カード式貸出券になったんだ!



ブラウン式貸出券



カード式貸出券

それぞれの図書館で貸出券を作ったので、何枚もカードを持っていた人も



1981年頃の中央図書館
(「学びあいの十年」10周年記念事業委員会発行より)

京都市図書館条例施行
中央図書館設置

(社会教育会館は下京図書館として、各分館は山科図書館、左京図書館、南図書館として開館。同年12月北図書館開館)

今の図書館の基礎がこのとき定められたよ
市民が歩いて行ける距離に図書館があることを目指して、今の21館につながっていくよ

京都市図書館整備中期計画

- 利用圏=半径2km圏内人口5万人以上10万人未満
- 単独施設の場合の建物床面積=700㎡以上、図書室部分床面積400㎡以上
- 蔵書冊数=利用圏内人口1人当たり1冊、最低6万冊
- 業務処理=全館コンピュータ化
- 地域図書館の増設=1行政区1図書館+伏見区中心部、山科醍醐の中間地域、南区吉祥院、伏見区の淀川以南地域、西京区洛西、左京区岩倉、伏見区久我羽束師(全17館)

京都市図書館協議会が「京都市図書館整備中期計画」を策定

1950年
12月28日
(昭和25年)

1951年
(昭和26年)

京都市社会教育会館
山科分館設置
(1973年移転)

1952年
(昭和27年)

巡回文庫用自動車「こじか号」使用開始

1964年10月
(昭和39年)

2代目「こじか号」
使用開始
(京都桂ライオンズクラブから寄贈)

1970年
(昭和45年)

3代目「こじか号」
使用開始
(京都南ライオンズクラブから寄贈)

1973年
(昭和48年)

1974年
(昭和49年)

京都市社会教育会館
左京分館開館

1978年
(昭和53年)

京都市社会教育会館
南分館開館

1979年
(昭和54年)

1981年
(昭和56年)

東山図書館開館

1983年
(昭和58年)

西京図書館開館

1984年
(昭和59年)

1985年
(昭和60年)

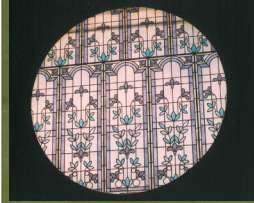
この年の重大ニュース

- ・金閣 放火事件
- ・朝鮮戦争勃発



写真は下京図書館時代のもの
(「学びあいの十年」10周年記念事業委員会発行より)

京都市社会教育会館条例施行
京都市社会教育会館内に
図書室設置

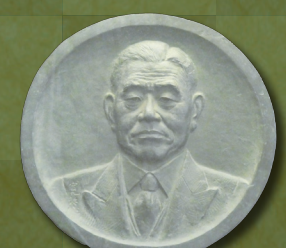


丸窓のステンドグラス

地元の人々から寄贈された旧十六会館に図書室が設置されたよ

よっ! ステンドグラスがワンドフル!

京都の実業家、富田保治氏から図書館建設資金として1億円が寄付されました
(昭和55年までに総額4億円)



富田保治氏のレリーフ

この年の重大ニュース
・スペースシャトル・コロンビア初飛行
・ピンク・レディー解散
この年の芥川賞
・吉行理恵「小さな貴婦人」

この年の直木賞
・青島幸男「人間万事塞翁が馬」
・つかこうへい「蒲田行進曲」
・光岡明「機雷」

醍醐図書館・右京図書館 開館



旧右京図書館(移転前)
(「学びあいの20年」20周年記念誌編集委員会より)

右京図書館は東映太秦映画村の向かいにあったんだ
たまに着物姿の俳優さんを見かけることも...

4代目「こじか号」使用開始



1985年頃の4代目こじか号(移動図書館)
(京都北ライオンズクラブから寄贈)

移動図書館は
閲覧と団体貸出
のみだったよ

レファレンス こぼれ話

特別編



～あなたの知りたいにおこたえます！～

レファレンスとは、みなさんからの質問・相談を受けて、調べものに必要な資料を探すお手伝いをすることです。
「レファレンスこぼれ話」はレファレンスについてのエピソードを紹介するコーナーですが、今回は『京図ものがたり』60号の特別編として、特集テーマにあわせて「京都市図書館の歴史」に関する資料をご紹介します。

京都市図書館、そのはじまりは？

京都市の図書館は、1 台の巡回文庫用自動車「青い鳥号」から始まりました。

『京都市政史 第3巻』の市政史年表に、「1950. 12.28、市教委社会教育課が巡回文庫用自動車「青い鳥」の使用を開始する」とあります。当時の京都新聞をマイクロフィルムで確認すると、昭和25年12月29日に「はしる教室“青い鳥”命名」の記事と車内の写真が載っています。京都府が発行した『京都府百年の年表 5 教育篇』にも、昭和25（1950）年、「12・20 京都市教委「青い鳥号命名式（バスによる巡回教室）」とあります。『京都市教育概要 昭和27年度』の巻頭に青い鳥号の白黒写真があり、巡回文庫や走る子供劇場など、本の閲覧や団体貸出にとどまらず様々な活動をしていたことがわかります。『京都年鑑 昭和27年版』では、昭和25年度の「図書貸出状況」が載っています。

昭和26年4月に京都市社会教育条例により下京区に社会教育会館が設置されました。

業務内容は、今の図書館と同じく、図書の選書や分類、貸出文庫の記録、修理などをしていました。

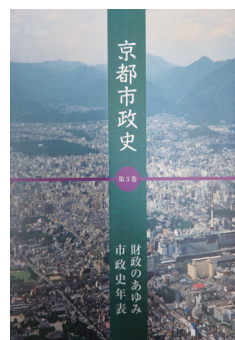
昭和27年には社会教育会館山科分館が設置されました。

山科分館は昭和48年に山科区西野にあった旧山科保健所を改修し、移転されました。

昭和53年に左京分館、昭和54年に南分館が開館し、同年、図書館の整備のため社会教育総合センター（後の京都市生涯学習総合センター）・中央図書館の建設工事が着工されました。

そして、昭和56年4月、現在も続く、京都市中央図書館が開館しました。また、社会教育会館は下京図書館として、各分館は、それぞれ左京・山科及び南図書館として新たに発足、開館し、巡回文庫は社会教育会館から中央図書館に移管されたことが、『京都市教育概要 昭和57年度』や『学びの未来への礎に 30周年記念誌』に書かれています。

このようにして始まった京都市の図書館は、今は20の図書館と移動図書館「こじか号」が設置され、市内の全地域をカバーし、さまざまなサービスを行っています。



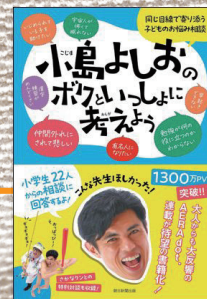
【参考文献】『京都市政史 第3巻』
（京都市市政史編集委員会／編集 京都市 2015）

【参考文献】

- 京都新聞 マイクロフィルム 昭和25年（1950）12月29日（右京中央図書館所蔵）
- 『京都府百年の年表 5』（京都府立総合資料館／編集 京都府 1970）
- 『京都市教育概要 昭和27年度』（京都市教育委員会事務局管理部調査計理課／編集 京都市教育委員会 1953）
- 『京都年鑑 昭和27年版』（都新聞社 1951）
- 『京都市教育概要 昭和48年度』（京都市教育委員会調査課／編集 京都市教育委員会 1974）
- 『京都市教育概要 昭和54年度』（京都市教育委員会調査課／編集 京都市教育委員会 1980）
- 『京都市教育概要 昭和55年度』（京都市教育委員会調査課／編集 京都市教育委員会 1981）
- 『京都市教育概要 昭和56年度』（京都市教育委員会調査課／編集 京都市教育委員会 1981）
- 『京都市教育概要 昭和57年度』（京都市教育委員会調査課／編集 京都市教育委員会 1982）
- 『学びの未来への礎に 30周年記念誌』（京都市生涯学習総合センター／〔編〕、京都市中央図書館／〔編〕、京都市生涯学習振興財団／〔編〕 30周年記念事業実行委員会 2011）



こじま かんが
『小島よしおのボクといっしょに考えよう』



小島 よしお／著
朝日新聞出版社

「そのお悩み、小島よしおさんに相談してみませんか？」

「どうして勉強しないといけないの?」「天国と地獄は本当にあるの?」

みなさんも子どもの頃、一度は考えたことがあるのではないのでしょうか。

そんな疑問に、「そんなの関係ねえ!」でお馴染み、お笑い芸人の小島よしおさんが答えてくれます。

この本には、22人の小学生から寄せられたそれぞれの相談に対する小島よしおさんの回答が載っています。相談内容は、子ども特有のものから、大人になっても悩んでしまうようなものまで様々。どの相談に対しても、ひとつひとつ丁寧に、優しく寄り添い、小学生でもわかりやすい表現を用いて答えています。(例えば、「執着しすぎる」を「『心の握手』が強すぎる」と表現されています。素敵…!)

また、必ず褒めることを忘れないところも印象的です。そして最後に、「君はどう思うかな?」と判断をゆだね、あくまでも一意見として答えているところも魅力的です。

全文ふりがな付きですので、子どもひとりでも、親子でも、もちろん大人も楽しめます。

さらに、回答と一緒にたくさんのギャグと、それぞれに込められた意味や思いも紹介しています。

テレビで見たあのギャグにはそんな意味が込められていたのか…!と驚き、誰かに話したくなること間違いなし!

なんと、ギャグのやり方まで解説しているので、いつ一発ギャグを無茶ぶりされても

ダイジョブダイジョブ～……………かも?

(O)

電子書籍、この1点



京都市図書館
電子書籍サービス
ウェブサイト



【借りる】も【返す】もクリック(タップ)するだけ!

いつでもどこでも読書が楽しめる便利な電子書籍サービスは、もうご利用いただきましたか?

インターネット環境があれば、あなたのパソコンやスマートフォン、タブレットがたちまち図書館に早変わり!

今回も、司書が電子書籍の機能を生かした1点をご紹介します。

音声読み上げ機能のコンテンツは電子書籍ウェブサイトのバナーからチェックしてくださいね。



音声読み上げできる本

『京都食堂探究』(ちくま文庫)

「麺類・丼物」文化の美味なる世界

加藤 政洋／著 <味覚地図>研究会／著 筑摩書房

豊かな出汁の香りに包まれながら、おいしい麺類や丼が手軽に食べられて、ほっと和める場所。身近な存在である食堂について、驚くほどの熱意をもってまとめられた本です。

店ごとに異なる「しっぽく」の具に関する考察、京都・大阪・東京における「きつね」や「たぬき」の違いなど、京都の食堂文化はなんと奥深いことか!私は近所の店の「しっぽく」の具が気になって、読み終わってすぐに食堂に駆け込みました。音声読み上げができるので、耳からの読書もおすすめです。(N)



電子書籍サービスの使い方がわからない…そんなときにはこちら!

醍醐中央図書館YouTube「京都市図書館電子書籍サービスの使い方」では、基本的な操作方法

「ログイン」「探す」「借りる」について、「京都市図書館電子書籍サービスの使い方 便利な機能編」

では、「文字サイズの変更」「表示色の反転」「音声読み上げ」についてご紹介しています。

ぜひご覧ください!

関連リンク先: <https://www.youtube.com/watch?v=Ag0GbIMDUR4&t=43s>

よもうちゃんねる

検索

京都市図書館
電子書籍サービスの
使い方▶



京都市図書館
電子書籍サービスの
使い方
便利な機能編▶



ご存知
ですか？

Do you know that the Kyoto City Library is convenient to use?

使って便利な 京都市図書館

その18

平成14年4月に創刊された京都市図書館情報誌『京図ものがたり』は、今回で60号を迎えました。最新号を含む全ての号は、京都市図書館ホームページで公開しています。ぜひご覧ください！

京都市図書館の発行物はこちらからどうぞ！▶



中西進 中央図書館・右京中央図書館長
50号記念特別寄稿「令和時代の読書」



50号は、もう
読めないのかな…

令和6年12月に発行したすごろく
「めざせ！図書館マスター」も
ホームページから見られるよ



京図ものがたり vol.60

発行 令和7年2月
編集・発行 (公財)京都市生涯学習振興財団
財団本部総務課企画係(京都市図書館担当)
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2
TEL 075-802-3145

- 京都市図書館ホームページ
<https://www2.kyotocitylib.jp/>
- 携帯サイト
<http://www.kyotocitylib.jp/i/>
- 公式X
@KyotoCityLib



編集◆集◆後◆記
今回は六〇号を記念し、特集を「京都市図書館 はじまりの物語」としました。新聞記事の調査において、京都府立京都市・歴史彩館のご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。
パソコンが普及されていなかった時から、工夫を重ねて図書館は運営されてきました。本と人をつなぐ場所であり続けることができるよう、今後も研鑽に努めてまいります。
(下)

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「京都はぐくみ憲章」を实践しましょう！



地球環境を守るため、できる限り市バス・地下鉄等をご利用ください。